浸水被害の軽減にあなたも貢献!

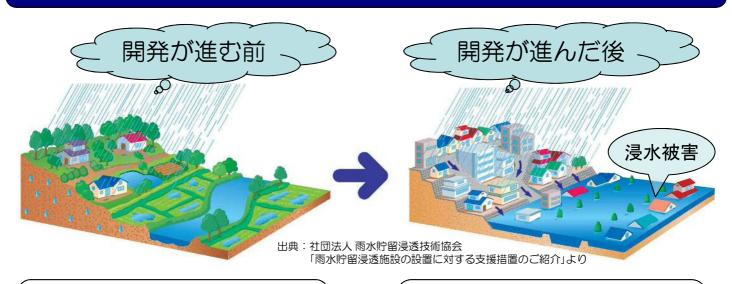
■防府市雨水貯留浸透施設設置について■



防府市では浸水対策の充実を図るため、宅地内への雨水貯留浸透施設の設置を支援します。 家庭でもできる浸水対策に是非ご協力ください。

防 府 市

雨水貯留浸透施設の必要性について





雨水の多くは、地中に浸透したり、 水田やため池に貯留され、河川への 流出は抑えられています。



地表がコンクリートやアスファルトで覆われたり、森林や水田・ため池がなくなることにより、雨水が短時間に集中して河川へ流出し、浸水被害が増加します。

浸水被害を軽減するためには?

河川改修や調整池の整備を進めることはもちろんのこと、 雨水を地中に浸透させたり、一時的に貯留して徐々に流す ことにより、少しでも自然の循環システムに近づけ、河川 に流出する雨水をできるだけ抑制することが必要です。



市街化が進む前は、降った雨の多くが地中へいったん浸透し、その後、木の葉や地表面から蒸発したりしていたため、地表から川へ流れ込む表面流出量は抑えられていました。



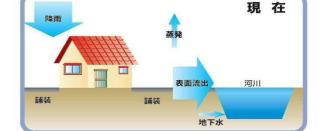




市街化が進むと、屋根や舗装など、雨が浸透しにくい場所が増え、短時間に地表から川へ流れ込む表面流出量が増加し、水害が発生しやすくなります。

また、地中に浸透する水の量が減るため、晴れた日が続くと川の流量が減ることが多くなります。







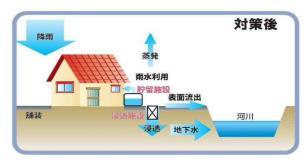
雨水貯留浸透施設による対策を進めると、降雨時の表面流出量を抑制し水害を防止することができます。

地中に浸透する水の量が増えるため、晴れた日が続いても川の流量が減ることが少なくなります。

貯留した雨水は水まき、洗車等に有効利用できます。

出典: 社団法人 雨水貯留浸透技術協会

「雨水貯留浸透施設の設置に対する支援措置のご紹介」より



補助対象の基準及び補助金額について

市内の補助対象区域に設置するもので、形式にこだわらず広く受け付けますが、下記の基準か同等以上の効果があるものに補助します。

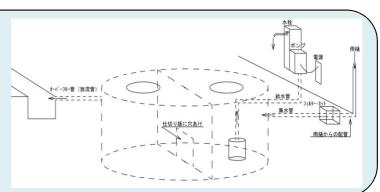
Ι型



浄化槽転用雨水貯留槽

下水道への接続により不要となる浄化槽等を雨水貯留施設等に転用したもの

1施設につき工事総額の3分の2に相当する額(上限100,000円)

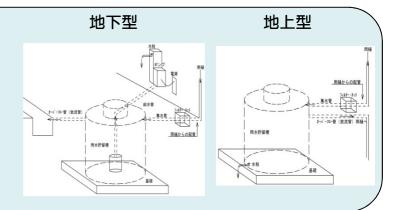




雨水貯留槽

敷地内に降った雨水を貯留する雨水貯留槽及び関連施設

1施設につき工事総額の3分の2に相当する額(上限30,000円)





雨水浸透ます

縦寸法:2000mm以上、横寸法:700mm以上 高さ寸法:650mm以上、浸透ます:350mm以上

浸透管:L=1000mm以上 Φ150mm以上

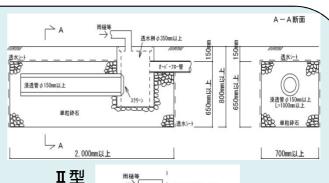
単粒砕石で周囲を覆う

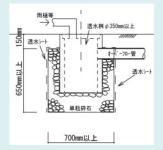
砕石外周面を透水シートで覆う

I型は1基につき工事総額の3分の2に相当する額 (上限50,000円)

II型は1基につき工事総額の3分の2に相当する額 (上限30,000円)

※原則として I 型を標準としますが、設置が難しい 場合は II 型とすることができる。





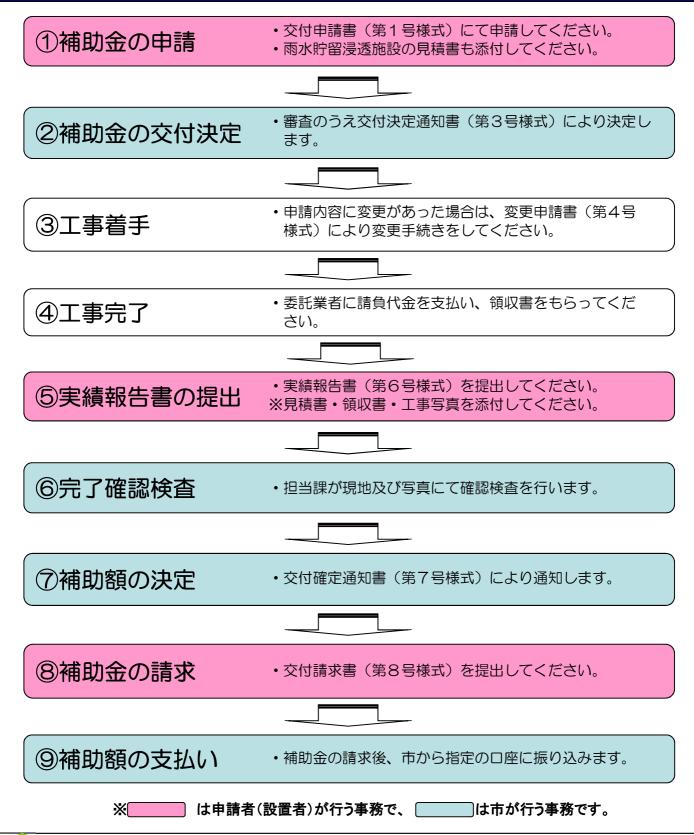


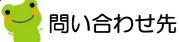
補助対象区域

補助対象となる区域は市内全域です。

ただし、急傾斜地崩壊危険区域、地滑り防止区域を除きます。

補助手続きの流れ(雨水貯留浸透施設)





〒747-8501 防府市寿町了番1号 防府市役所 河川港湾課 改良係 TEL 0835-25-2429 Email kasen@city.hofu.yamaguchi.jp